



平成 30 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社中村超硬
代表者名 代表取締役社長 井上 誠
(コード：6166 東証マザーズ)
問合せ先 取締役社長室長 藤井 秀亮
(TEL. 072-274-1072)

特別損失（減損損失）の計上及び第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異、通期の連結業績予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）において、下記のとおり特別損失を計上しましたので、お知らせいたします。また、特別損失の計上により、誠に遺憾ながら当第 2 四半期累計期間末において、当社ならびに当社グループは債務超過となることも併せてお知らせいたします。

これに伴い、平成 30 年 8 月 8 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じ、平成 31 年 3 月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

これらの状況を踏まえ、経営責任を明確にするため役員報酬を減額しております。これらの内容につきまして、併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 特別損失の計上について

当社は、主力事業である太陽光シリコンウエハ市場における急激な市場環境の悪化に加え、ダイヤモンドワイヤの市場単価が年初対比で約 7 割下落するなど、当社の固定資産について減損の兆候が認められたため、帳簿価額と将来キャッシュ・フローによる回収可能価額を慎重に比較検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

対象となる固定資産の主なものは機械装置であり、これによる減損損失計上額は 5,011 百万円であります。

II. 業績予想値と実績値との差異

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,600	△2,100	△2,150	△2,400	△478.54
今回実績値 (B)	2,432	△3,053	△3,066	△8,354	△1,665.75
増 減 額 (B - A)	△167	△953	△916	△5,954	
増 減 率 (%)	△6.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	5,882	694	624	721	154.27

2. 差異の理由

当社の主力製品であるダイヤモンドワイヤが使用される太陽光シリコンウエハ市場は、今年に入り、シリコンウエハの価格下落によって当社ダイヤモンドワイヤ販売の8割を占める多結晶ウエハメーカーにおいて大幅な生産調整が行われたことや、本年5月31日に中国政府より発表された今年の太陽光発電に関する助成金打ち切りの影響等を受け、市場が一時的に縮小するなど環境が急激に悪化しました。また、市場の縮小等の影響によりダイヤモンドワイヤの市場価格についても年初に比べ約5割下落したため、平成30年8月8日に第2四半期累計期間及び通期の業績見通しの修正を行いました。

しかしながら、太陽光関連市場の回復が想定以上に遅れており、加えて、本年9月にダイヤモンドワイヤの市場単価が第1四半期末に対しさらに約3割下落（年初対比で約7割下落）したことを受け、ダイヤモンドワイヤ販売事業はさらに厳しい状況となりました。

これらの状況により、第2四半期連結業績については、売上高が平成30年8月8日に公表した計画数値を下回り、利益面においても減収に伴う影響に加え、ダイヤモンドワイヤの市場価格がさらに下落したことに伴う当社の保有する製品在庫及び原材料等の評価減（1,984百万円のうち第2四半期では532百万円）を実施した影響、ならびに、前述のとおり、当第2四半期連結累計期間において減損損失として5,011百万円を計上した影響により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなりました。また、減損損失の計上により、当社ならびに当社グループは、誠に遺憾ではございますが当第2四半期累計期間末において、債務超過の状態となっております。

III. 通期業績予想の修正

1. 平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,500	△2,300	△2,400	△2,700	△538.06
今回修正予想 (B)	5,000	△3,800	△3,900	△9,300	△1,853.31
増 減 額 (B - A)	△2,500	△1,500	△1,500	△6,600	
増 減 率 (%)	△33.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	12,140	1,570	1,365	1,381	288.94

2. 修正の理由

新規開拓を進めている単結晶ウエハメーカーとの取引は拡大する見込みはあるものの、上述の第2四半期累計期間までの業績悪化の影響に加え、第3四半期以降においても、ダイヤモンドワイヤ販売市場の回復が遅れるものと見込んでおり、また、ダイヤモンドワイヤの市場価格についても今後下がる可能性もあることから、厳しい事業環境は続くものと想定しております。

これらのことから、平成31年3月期通期連結業績予想につきましても、売上高が見通しを大きく下回る見込みであり、利益面についても営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みであります。

※上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

IV. 役員報酬の減額について

今期における業績の低迷を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施いたします。また、監査役及び社外取締役より、報酬の自主返納の申し入れがございましたので、併せてお知らせいたします。

1. 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の100%
その他取締役	月額報酬の20%
監査役	月額報酬の20%

2. 対象期間

平成30年11月から平成31年3月まで（5ヶ月間）

以 上